



2026年

プレゼминаールのご案内

プレゼминаール 2026年9月26日(土)
エントリー期間 2026年8月19日(水)9時～9月2日(水)17時

9月26日(土)

9:20～9:40 全体説明(8:30～受付開始)

文系:学問の扉を開く

10:15～14:30(昼休み11:45～13:00)

セミナー1 (日本近代史)

明治維新と学校

定員30名

セミナー2 (保育学)

乳幼児の遊びとリスク

定員30名

セミナー3 (社会学)

「格差」と不平等を考える

定員30名

セミナー4 (心理学)

性格タイプ分類から考える心理測定と応用

定員30名

セミナー5 (認知科学)

AIで100年前の人に聞く?

定員30名

理系

10:15～14:30(昼休み11:45～13:00)

セミナーA (ソフトマター物理学、理論物理学)

印象派物理学入門

定員20名

セミナーB (コロイド界面化学)

界面活性剤から広がる「ナノ」の世界

定員40名

セミナーC (環境発生進化学)

目で見る核酸

定員20名

セミナーD (量子コンピューティング)

新時代のコンピューティング

定員20名

セミナーE (栄養化学)

おいしさや栄養から考える脂質の科学

定員20名

※総合型選抜(新フンボルト入試)文系学科受験者は、文系セミナーからいずれか1つを受講し、終了後にレポートを作成(14:45～15:45)する必要があります。

※総合型選抜(新フンボルト入試)理系学科受験者の第1次選考は書面審査にて行われます。プレゼминаールの受講は必須ではありません。

※高校1年生は前半(10:15～11:45)のみ学内オンライン配信で受講できます。時間内は複数のセミナーを自由に見て回ることができます。ただし、セミナーBのみ高校1年生も対面で午後まで受講できます。

プレゼминаールのエントリー方法について

セミナー内容をよく読み、第1～第3希望を選んで申し込みを行ってください。応募者が多数の場合には抽選となり、第2または第3希望のセミナーの受講となる可能性があります。

なお抽選となった場合は、新フンボルト入試受験者の受講希望を優先します。

<申込フォーム>

「2026プレゼминаール 新規申し込みページ」

<https://www.ocans.jp/ocha?fid=CR5IEuXC>



※新フンボルト入試(文系学科)受験者は、エントリー完了時に通知される申込番号を控えておき、新フンボルト入試出願時に申込番号と希望セミナーを入力してください。

※プレゼминаールへのエントリーのためにご記入いただいた個人情報は、本学の入学志願者・受験者に関する情報と同様、適切に処理いたします。同個人情報は本学が管理し、プレゼминаールの運営および付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。お茶の水女子大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

<https://www.ocha.ac.jp/about/individual.html>

高校1年生から参加可能

参加資格

お茶の水女子大学での学びを志望するすべての女子高校生
(性自認が女性であるトランスジェンダーの生徒を含む)



セミナー1

明治維新と学校
(湯川 文彦:日本近代史)

定員30名

明治維新时期には新たな国家・社会の形成を求めて様々な改革が行われましたが、なかでも「学校」の整備は人々の生活に深く関わるものとなりました。しかし、なぜ学校に通う(通わせる)必要があるのかなど、学校整備に対しては人々から多くの「???」が寄せられました。学校は歴史的な所産であり、決して当たり前のものではありません。様々な史料をつうじて当時の人々が示した視点や考え方にふれ、改めて「学校」のもつ意味や課題を考えてみましょう。

セミナー2

乳幼児の遊びとリスク
(辻谷 真知子:保育学)

定員30名

小さい頃、危険そうだけれど面白い遊びをしてみたり、あるいは怖くてできなかったり、という経験はありますか？近年、子どもの安全に対する社会的な関心は高まる一方、子ども自身で挑戦やリスクマネジメントをする経験が乏しいとも言われます。乳幼児期の育ちでは「遊び」が重視されますが、その中でもリスクを伴う遊びは子どもたちにとってどのような意味を持つのでしょうか。学際的な領域、子ども学・保育学の視点から考えます。

セミナー3

「格差」と不平等を考える
(脇田 彩:社会学)

定員30名

「格差拡大」、「ジェンダー格差」、「体験格差」など、社会問題に関連して、よく「格差」という言葉が使われます。しかし、その「格差」が指し示すものはしばしば曖昧で多様です。「格差」を語る時、「格差」をどのように分類すると良いでしょうか。どのような「格差」の、何が問題なのでしょう。社会学、とくに社会階層論がどのように「格差」と不平等を扱ってきたかを学び、「格差」問題を考えます。

セミナー4

性格タイプ分類から考える心理測定と応用
(石丸 径一郎:心理学)

定員30名

これまで日本では、さまざまな性格タイプ分類が流行っては廃れてを何度も繰り返してきました。心理学の専門的な観点からは非科学的で無意味であると一蹴されてしまうこともあります。一方で無視できないほどの規模と影響力を持つことがありますし、実際にまったく役に立たないとも言いきれない部分があります。目に見えない心理傾向の測定は非常に難しく、心理学の専門家が使用する心理検査でさえ不完全であり多くの課題があります。本セミナーではリッカート法・因子分析などの標準的な心理測定手法を解説しながら、世間で流行している性格タイプ分類にどのような意義と課題があるのかを考えていきます。

セミナー5

AIで100年前の人に聞く？
(佐藤 有理:認知科学)

定員30名

人間に匹敵するような振る舞いを示すものとして、人工知能(AI)が注目されています。本セミナーでは、人間とAIの比較を通して、人間がどのようにものごとを理解しているのかを考えます。前半は、画像だけで判断するAIと人間の違いを紹介し、「見れば分かること」と「知識が必要なこと」を考えます。後半は、100年前の本だけで学んだAIに質問し、現代との答えの違いを体験します。AIをあえて制限することで、人間の思考や理解の特徴に迫ります。



印象派物理学入門
セミナーA —しずく、あわ、切り紙、クモの巣に潜む最先端の物理学—
(奥村 剛: ソフトマター物理学、理論物理学)

定員20名

水道の蛇口からしたたり落ちる滴も、よく伸びる切り紙も、クモの巣の丈夫さも、「印象派物理学」を使うと、美しくシンプルな物理法則に支配されていることが分かります。さらに、その背景を探ると、そこには現代物理学の最先端にある深遠な世界が広がっていることが分かってきます。皆さんも、身近な現象に潜むシンプルで奥深い物理学のフロンティアを覗き込んで、一緒にワクワクしてみませんか。

セミナーB 界面活性剤から広がる「ナノ」の世界
(伊村 くらら: コロイド界面化学)

定員40名

家庭用品や食品に欠かせない「界面活性剤」は、私達にとって身近な化学物質の一つです。その分子構造には水に馴染む部分と油に馴染む部分の両方が備わっており、洗浄作用のほかにも様々な面白い性質を示します。たとえば界面活性剤分子を自己集合させるとナノサイズの構造体を作ることができます。シャボン玉(石鹸の泡)もそうした界面活性剤が集合した分子膜です。この模擬授業では、界面活性剤の分子集合の仕組みや、それを利用した先端のナノ材料づくりを紹介します。

※セミナーBのみ、高校1年生も午前、午後ともに対面受講が可能です。

セミナーC 目で見える核酸
(佐藤 敦子: 環境発生進化学)

定員20名

生命科学の研究では、核酸配列の解析が鍵となってきました。実際に生物の細胞から核酸を抽出する過程を観察し、また、配列解析をどのように行っているか、どのように可視化できるかについてお話します。

セミナーD 新時代のコンピューティング
(工藤 和恵: 量子コンピューティング)

定員20名

近年よく「量子コンピュータ」のニュースを聞くようになりました。量子コンピュータは、従来のコンピュータの性能をしのぐ計算能力をもつと期待されている、新時代のコンピューティング技術です。どんな計算でも速くできるわけではありませんが、量子の性質を利用することで非常に速く解ける問題があることが知られています。量子の不思議な性質に触れながら、量子コンピュータの計算のしくみを学んでみましょう。

セミナーE おいしさと栄養から考える脂質の科学
(市 育代: 栄養化学)

定員20名

脂質は食品の食感や香りなど「おいしさ」の形成に深く関わっています。また、生体においても重要なエネルギー源であるだけでなく、細胞膜の構造維持や生体機能の調節にも重要な役割を担っています。本セミナーでは、水と油を用いた簡単な実験を通して脂質の性質について理解を深め、食と栄養の視点から、脂質が食品や生体内でどのように働いているのかを一緒に探究していきます。

アフタープログラム

セミナー受講終了後、以下のアフタープログラムに参加することができます。ぜひご参加ください。
※エントリーの際に事前申し込みが必要です。

○グループ討論会 (13:00~14:30) **先着順**

新フンボルト入試でも実施される「グループ討論」を体験できます。

1. 家庭は学校とどう向き合ってきたか —教育史の視点から考える—
2. 「~かもです」って正しい日本語？ 面接で有利な話し方ってあるの？
3. 彩色アルゴリズムを改良しよう
4. 首都圏女子と地方女子の進路選択

○リレートーク (16:00~17:00)

本学の様々な分野の教員が、女子大学であるお茶大で学ぶ意義をテーマに、自身の研究分野、学問の楽しさについてリレー形式でお話しいたします。お茶大で学べる分野の幅広さを体感してみてください。

○テーマトーク (14:45~15:45)

本学の研究室で日々行われている教育、研究について、教員、学生が対談します。

1. 大学で学べる「心理学」の実際
2. 女子大学で学ぶ意義、お茶大の良いところ、研究室紹介
3. 教育学をお茶大で学ぶ意義
4. 女子大・少人数教育の利点、研究室紹介



理学部化学科 (①14:45~15:45 | ②15:45~16:45)

○研究室見学ツアー

化学科エリアの教室ならびに実験室、研究室の様子を見学できます。また、化学科受験を検討するにあたって質問がありましたら、その場で相談も可能です。

○ミニキャンパスツアー (12:00~16:30) **先着順**

単なる施設紹介ではなく、学生の日常の様子や実際のキャンパスライフについても交えながらご案内します。ツアー中もぜひ気軽に学生スタッフへ話しかけていただければと思います。

理学部生物学科 (14:45~16:45)

○大学院生による研究ポスター発表

大学院生の最新の研究成果を聞くことができます。

○自主研究課題相談会

大学教員が課題の選定や研究の進め方などの相談にのります。(高校2年生以下のみ参加可)

○時間割を作ってみよう (12:00~16:45)

高校の時間割とは異なり、大学では自分の時間割は自分で作ります。実際の授業時間割やシラバスを見ながら、学生が時間割作りをお手伝いします。自分の学びたい授業を自由に選べることを体感してみてください。

生活科学部食物栄養学科

○合格者への質問会 (14:45~16:45)

新フンボルト入試で入学した食物栄養学科の学生への質問会です。個別ではなく、オープン形式で開催します。合格者の体験談を聞くことができますが、令和9年度入試に関する質問には一切お答えできませんので、ご留意下さい。

○学生との懇談会 (12:00~16:30)

新フンボルト入試に合格した学生が、みなさんと自由に懇談します。お茶大の授業のこと、普段の生活のこと、自由に質問してください。新フンボルト入試受験体験に関することも質問していただけます。

○附属図書館見学 (13:00~17:00)

附属図書館を自由に見学できます。対象者ごとに3回に区切って開催します。

問い合わせ先

お茶の水女子大学 アドミッション・オフィス

MAIL admissions@cc.ocha.ac.jp

TEL 03-5978-2700 FAX 03-5978-2566

※アドミッション・オフィスのスタッフが不在の場合もあるため可能な限りメールでのお問い合わせをお願いいたします。

プレゼминаール特設サイト



令和9年度 学生募集要項

